



2023年12月22日

各位

会社名 ニチバン株式会社
代表者名 代表取締役社長 高津 敏明
(コード番号 4218 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員
管理本部長 小林 英治
(TEL. 03-5978-5601)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2023年12月22日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状評価

(1) ROEについて

2019年3月期までは9%を上回っていたものの、2019年の日韓関係悪化による訪日韓国人の減少に伴うインバウンド需要の激減や、2020年初頭の新型コロナウイルス感染症の流行を起因とする経済活動の停滞や原材料仕入価格・エネルギー価格の高騰などにより当社の収益性が低下したことによって、2020年3月期から2022年3月期はROEが3～4%台で推移いたしました。その後も円安の影響や原材料仕入価格・エネルギー価格の高止まりは依然として予断を許さない状況が続いていますが、感染症収束に伴うインバウンド需要回復および価格改定の効果、また特別利益（固定資産売却益）の計上もあったことから、2023年3月期は6.0%となりました。

(2) PBRについて

2020年3月期までは1倍以上で推移していたものの、2021年3月期からは収益性の低下に伴い1倍を下回る状況が続いています。

現状分析（連結）

項目	単位	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期
売上高	百万円	46,234	47,417	44,063	41,528	43,134	45,560
営業利益	百万円	4,419	3,684	2,975	2,000	2,450	1,609
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	3,132	3,193	1,751	1,350	1,809	2,371
ROE	%	9.8%	9.1%	4.8%	3.6%	4.7%	6.0%
PBR	倍	1.34	1.61	1.11	0.87	0.97	0.86

2. 方針・目標

中長期ビジョン『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』および2024年4月よりスタートする次期中期経営計画の戦略テーマと連動させ、資本コストを意識しながら事業を推進することで収益性の向上を図り、2027年3月期（2026年度）に「ROE 8%以上」「PBR 1倍以上」を目指すこととしております。

3. 取組み・実施時期

2024年4月よりスタートする次期中期経営計画において、以下に記載した重点テーマが企業価値向上に資するよう、より積極的な事業活動を展開し安定した収益性の向上と株主還元に努めて参ります。

次期中期経営計画の重点テーマ

- (1) 事業ポートフォリオの再構築
 - ・ テープ事業セグメントの抜本的収益改善
 - ・ 成長事業と新領域へ経営資源を重点配分
- (2) グローバル企業化
- (3) 人的資本経営

具体的な計画内容についてのご説明は、2024年5月の2024年3月期決算説明会にて実施予定です。

以 上